

い〜わ

# 河内の風



MAY 2007

No.23

環境アニメイティッドやお 広報委員会 発行

今月は、活動報告・紹介とビッグニュースのお知らせです!



## CONTENTS

目次

1
高安山は八尾の自然公園 ～高安の森 自然楽校が開講～
2
ビッグニュース 地元キンタイ ストックホルムで世界デビュー
3
解説 ドビ流しについて
4
開催のお知らせと活動紹介
5
環境アニメイティッドやお情報
6

## 2ページ 高安山は八尾の自然公園

高安の森 自然楽校が開講しました。  
楽しいですよ! ぜひご参加ください。



## 3ページ 地元キンタイ スtockホルムで世界デビュー!

これは、本当にすごいニュースですよ。  
すごいニュースなので、緊急にページ数を増やしてお知らせします。  
これを読めば、地元 高安山に誇りが持てます!

## 4ページ 解説 ドビ流しについて

3頁で出てくる「ドビ流し」についての解説です。  
これで、高安山に興味を持ってもらえれば幸いです。

## 5ページ 開催のお知らせと活動報告

第1回 日本ビオトープ管理士会の事例研究発表会のお知らせと、学校・地域連携のビオトープづくり活動報告をお知らせします。

## 6ページ 環境アニメイティッドやお情報

運営会議についての報告や今後の環境アニメイティッドやおの活動をご紹介します。

URL <http://www.eco-ani-yao.org/>  
E-mail [eco\\_ani\\_yao@hotmail.com](mailto:eco_ani_yao@hotmail.com)

# 高安山は八尾の自然公園

## 〜高安の森 自然楽校が開講〜

4月28日(土)「高安の森 自然楽校」が開講されました(講師は大阪森林インストラクター会 阪奈会)この「高安の森 自然楽校」は、市民環境講座の体験型講座として今回より開催しました。

当日、午前10時に参加者約30名が近鉄 服部川駅前公園に集合した後、開校式が行われ、午前の授業「山の安全(危険生物)」を受けました。この授業ではマムシを初めとするヘビ、ハチやダニにどう向き合うか、といった興味津々の話。

その後、高安山の中腹まで上がり、野外料理、一般用材を除くシイタケなど特用林産物に関する授業があって、昼食となりました。

昼食には講師陣からユキノシタ、ゴギョウ、タカノツメなど5種類の天ぷら、ロール・キャベツ、ドングリコーヒーなどの料理が提供されました。

高安の森が持つ自然のすばらしさをかいま見た「自然楽校」の第1回目でした。

(広報委員 東郷)



午前の授業は、興味津々!



屋外の植物の説明も興味津々!

### 参加者と講師の感想

講師: 森林インストラクター会 阪奈会

第1回を開催し、午前は危険動物の室内講義、午後は屋外で山菜料理の試食と親睦会を行いました。帰り際に雨に打たれましたが、高安の森 自然楽校は順調なスタートをきったのではないかと思います。これからが楽しみです。(稲山さん)

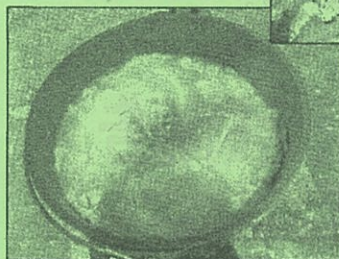
#### 参加者

講師による詳しい動植物の説明、屋外での自然観察、おいしい山菜の天ぷら、そして多くの人との出会い...等々、参加させていただき有意義な1日でした。以後のカリキュラムも楽しみにしています。

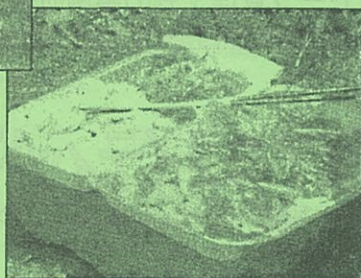
お世話くださった講師の大阪森林インストラクター会 阪奈会の方々、並びに環境アニメイティッドやお事務局の方々、ありがとうございました。(小山 正巳さん)



みんなで楽しい屋外での昼食



おしかった、ロール・キャベツと天ぷら



## ビッグニュース!

# 地元キンタイ スtockホルムで世界デビュー!

(ニッポンバラタナゴ)

## 「ドビ流し (池干し) の謎」解明で大賞受賞

清風高等学校 生物部と関西大倉高等学校のみなさんが、「日本ストックホルム青少年水大賞(以後、日本SJWP)」においてみごと大賞に選ばれました。

日本SJWPで大賞に選ばれた表題は、「キンタイを救う“池干”の謎 —ニッポンバラタナゴの産卵床となるドブガイの繁殖に影響を及ぼす伝統的な“池干し”の効果—」です。

清風高等学校 生物部と関西大倉高等学校のみなさんは、8月11日(土)からストックホルムで開催される「ストックホルム青少年水大賞」国際コンテストで、日本代表として発表をされます。

また「ストックホルム青少年水大賞」は、「ストックホルム水大賞」という“水のノーベル賞”と称される賞のジュニア版の国際コンテストです。

この大賞は、水環境の調査といった研究活動に加え、地域の水問題の解決に向けての実践活動を対象にしています。今回、清風高等学校 生物部と関西大倉高等学校のみなさんは、地域で行われている「ドビ流し(池干し)」の効果について、普段からの実践活動(NPO 法人 ニッポンバラタナゴ高安研究会の活動に参加)に加え、統計や実験・観測といった科学的に調査・研究をまとめられました。

またこの八尾の高安で伝統的に行われているドビ流しがニッポンバラタナゴなどの生態に大きく影響を与えている“自然”と“人”とのつながり・つきあいのすばらしさを、科学的に解明された研究です。

8月11日からのストックホルム青少年水大賞の国際コンテストでは、これまでに沖縄県立宮古

農林高等学校が2004年に大賞(グランプリ)を受賞し、京都府立桂高等学校が2006年に準グランプリを受賞しています。今年は清風高等学校 生物部 関西大倉高等学校のみなさんがグランプリを受賞される可能性が十分にあります。ものすごい期待と夢が広がります。八尾の皆さんで応援しましょう!

いよいよ、キンタイくんの世界冒険が始まります!

(ドビ流しについては、次ページに解説を掲載しています。)



### ■参考■

日本ストックホルム青少年水大賞 ホームページ  
<http://www.japanriver.or.jp/sjwp/index.htm>

解説

# ドビ流しについて

「ドビ流し」という言葉を聞いたことがありますか？

普段あまり聞かない言葉だと思います。今回はこの「ドビ流し」についてお話したいと思います。

むかし、多くの人々のくらしは今とちがって田んぼがあちこちにあり、田んぼにイネを植えて米を収穫して生活していました。

田んぼには多くの水が必要で、とくに雨の少ない時に水をどうやって用意するかが大切でした。

そこで、雨の少ないところではふった雨や川の水を「ため池」にためておくことで、田んぼに必要な水を用意していました。

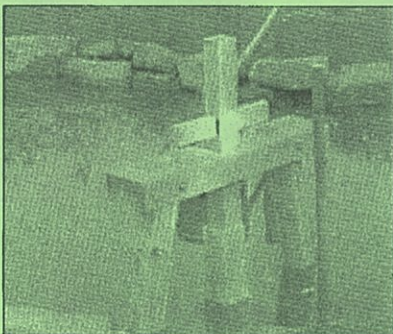
ところが「ため池」は、長い間おいておくと枯葉など植物や池の中で死んでしまった動物がくさり、ヘドロになって底にたまってしまいます。

「ため池」に十分水をたくわえるためには、池にたまったヘドロを掃除しなくてはなりません。

「ため池」には掃除をするために、お風呂のせんと同じように底樋（そこひ）とよばれるせんがつけられています。

この底樋（そこひ）をぬいて、たまったヘドロを水と一緒に池の外へ流していました。

また、流されたヘドロは田畑に入れて「大切な肥料」になっていました。



底樋



底樋をぬいたところ

この作業のことを高安の人は「ドビ流し」とよんでいます。

ここで、「ドビ流し」をするとため池の生き物たちはみんな流れてしまうと思うかも知れません。

しかし、どんなに水をぬいてもため池の生き物をみんな流してしまうことはありません。かならず池の水や泥は少し残ってしまうからです。

池の掃除が終わるとまた水をたくわえます。このときの水は掃除をする前のため池の水にくらべるととてもきれいです。

このきれいになった水とヘドロのぬけたため池が、少しだけのこった生き物たちにとって、とてもよい生活の場所となります。

そうして、その少しの生き物はまたドンドンふえて行きます。

むかしの人はため池の生き物のために、わざわざ「ドビ流し」をしてはいませんでした。

しかし、人間が「ため池」を掃除することが、ため池の生き物にとってもよいことになっていたことはまちがいありません。

■出典■

「ニッポンバラタナゴの保護と環境保全  
キッズメニュー」（インターネット）

NPO 法人 ニッポンバラタナゴ高安研究会

<http://www.kawachi.zaq.ne.jp/dpbva000/kids/kids04.html>

## 開催のお知らせと活動紹介

# 来てほしいゆん！ 話し合いたいゆん！ 私たちでできること

## 第1回 日本ビオトープ管理士会 事例研究発表会

### 【日時】

6月9日（土）10:00～18:30

### 【場所】

プリズムホール レセプションホール

### 【内容】

#### 基調講演

「近い将来、地球環境問題が市民生活を脅かす」

和歌山大学 システム工学部教授 養父 志乃夫

「多自然型川づくりから多自然川づくりへ」

国土交通省河川局河川環境課 小俣 篤

#### 事例報告

10例前後の自然環境回復活動などを発表

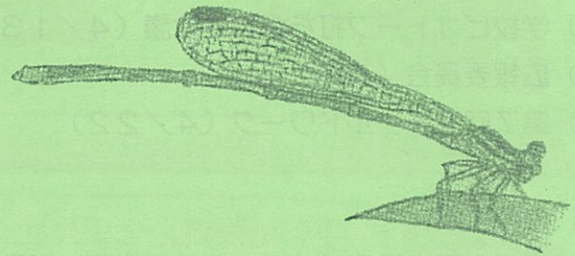
#### ポスター発表

多数展示

#### パネルディスカッション

「自然環境を守り、回復させるために私たちにできること」

※ 6月10日は、エクスカージョンとして、現地視察（高安山と和歌山の2コース）を行います。



### 【参加費】

1,000円（資料代）

→八尾市民の方は無料！！

### 【参加受付・問合せ先】

ビオトープ管理士会近畿支部

E-mail : miyamoto@sanadayama.co.jp

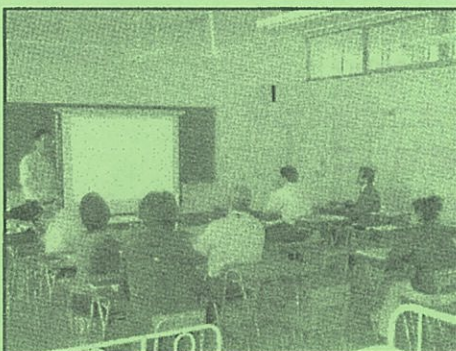
FAX 06-6764-6711

TEL 06-6764-8161

大阪府中央区谷町6丁目 13-34

## 八尾の原風景を！

## 学校・地域連携のビオトープづくりが始まる



ビオトープ管理士会の方の説明で、本来のビオトープがわかりました。

4月から桂小学校・北山本小学校・桂中学校・八尾北高等学校が一緒になって打合せを2回行いました。八尾北高等学校のグラウンドで、ビオトープを3年に渡って創り活用していこうというものです。

グラウンド周辺のかつての原風景を創るためにビオトープ管理士会の方からビオトープについてとその事例を話していただき、参加者で話し合いました。

今後はグラウンドの生物調査や、地元の方へのヒアリング（昔いた生物など）などを行う予定です。

（環境アニメイティッドやおは、この事業の支援・サポートをしています）

環境アニメイティッドやお 情報

〈第28回 環境アニメイティッドやお 運営会議〉

4月23日(月) 18:30~ 市役所4階

■ 4月3日第3回定期総会以降の活動

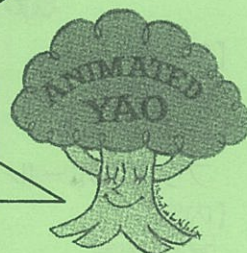
- ① 学校ビオトープ打ち合わせ会議(4/13)
- ② 広報委員会(4/13)
- ③ 第7回フィールドワーク(4/22)

■ 協議事項

- ① 高安山里山保全プロジェクトの当面の活動
  - ・ 高安の森 自然楽校2ヵ月分の取り組みについて
  - 4月 安全教育; 山の安全、林産物と野外料理
  - 5月 森林; 森林の生態、樹木、植生調査等
  - ・ 昨年度、八尾ライオンズクラブ(神立 悦二会長)から小中学校に寄贈されたニッポンバラタナゴ観察用水槽の中にドブ貝を入れました(生物のつながりを観察してもらうため)。
- ② 2007年度第1回ビオトープ管理士会研修会 共催依頼について(詳細は4ページを)
- ③ 市民環境講座・楽しい環境活動支援金事業
  - ・ 2007年度楽しい環境活動支援金事業の日程
  - 6月15日(金) 公開レクチャー
  - 7月21日(土) 公開プレゼンテーション
- ④ いきいき八尾環境フェスティバル2007の開催について  
開催日時; 10月20日(土)~21日(日)  
例年より、3週間前倒して開催します!

会議に参加しました

さあ、今年度も盛りだくさん!  
色々、ご参加くださいね!



〈今後の活動〉

- 広報委員会 5月11日(金) 18:30~  
ネットワークセンター「つどい」  
いきいき八尾環境フェスティバル2007  
第1回 実行委員会  
5月22日(火) 18:30~  
プリズムホール 4階研修室

〈高安の森 自然楽校〉

- 5月26日(土) 10:00~16:00  
近鉄服部川駅前公園 集合(昼食持参)  
内容: 森林の生態・樹木・植生調査・森林の植物  
参加されたい方は、下記の問い合わせへお申込ください。

〈高安山自然再生定期活動〉

- 5月27日(日) 9:00前  
近鉄信貴山駅 集合

〈FMちゃおでの放送予定〉 FM79.2MHz

- 5月28日(月) 12:00~12:45  
(再放送 19:00~19:45)

放送内容予定

- 学校ビオトープの紹介
- ビオトープ管理士会開催広報

■ 運営会議に参加して

昨年度まで女性の実行委員は、高安城の会坂上弘子さんが紅一点でした。そこで女性の目線からの意見も多く取り入れようということで、新たに3名加わりました。

まだ状況をつかめるところまではいっていませんが、少しでも新風を吹き込めればと思っています。  
(広報委員 奥本)

環境アニメイティッドやお運営会議  
実行委員女性新メンバー

八尾の食文化を考える会 石黒美喜  
大阪経済法科大学 鍛冶屋佳美  
市民ネットワークグループCAN 奥本陽子